

スマイルゆい便り

居宅介護支援事業所スマイルゆい
大分市敷戸台 2-2-24 Tel 504-7858



秋の気配が感じられ始めた今日この頃、皆様お変わりありませんか・・・
まだ蒸し暑い日もあり、朝着ていく服に迷う毎日です。

私たちが関わっている介護保険では、今年4月から要介護認定方法の見直しがされましたが、要介護状態区分等が軽度に変更され、これまで受けていた介護サービスが受けられなくなるのではないかとという利用者等からの懸念を受けて、検証、検討会がおかれ検証期間中、希望する場合は、従前の要介護状態区分によるサービス利用が可能となるよう、経過措置が設けられていました。検証、検討会において検証を行った結果、修正の必要があるということで要介護認定方法の見直しの修正が行われ、今年10月から実施となります。

4月からの見直しは、大きな見直しであったにも関わらず、事前の検証や周知が不十分であったために、現場の混乱を招きました。私たちケアマネジャーも振り回され、新たに認定調査の周知に時間をかけなければなりません。大きな改正の前には、もっと現場の声に耳を傾け、検証にしっかり時間をかけてほしいと思います。

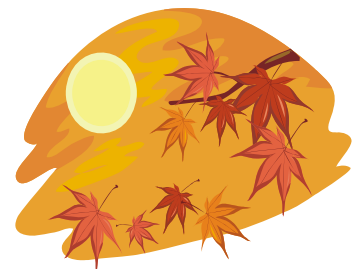
さて9月21日は敬老の日でしたが、全国の100歳以上の高齢者が前年度から1割増え4万人突破したということで驚きました。すごい数ですよ、8割以上が女性です。

都道府県別でもっとも多いのが沖縄県。上位10県のうち九州が5県、中四国が5県占めており、長生きするには九州は住みやすいところなのですね。

それから最近の話題で気になったのが、ドライマウスの症状を訴える人が、若い人でも増えているということです。ドライマウスとは、唾液の分泌が減ることによって、口の中が乾いてしまう状態です。以前は、50～70歳代の女性が多かったようですが、最近では口臭で悩む方の中から、30～40歳代の若い患者さんが増えているそうです。原因は薬の副作用、病気の影響、加齢等もありますが、若い人が増えている一因には、やわらかいものばかり食べているせいで、あごの筋力が低下しているためとも言われています。またストレスによって自律神経の失調を引き起こし、唾液分泌がスムーズにいかなくなることも考えられています。

ドライマウスの予防は、唾液の分泌をよくすること。

- ・ 身体を動かし自律神経を刺激する。
- ・ 固い物を積極的に摂取する。
- ・ 口の周りの筋肉を刺激する（積極的に笑う）。
- ・ 「イー」「ウー」を繰り返し唾液の分泌促す。



新型インフルエンザが流行しています。感染予防にも心がけたいと思います。

H21・9・30 ケアマネジャー 濱渦

これからの長寿社会をどうくらす！？

管理者 古村 久美子

季節の変わり目ですが、皆さん体調の方はいかがですか。インフルエンザの流行の方はどうでしょう。一時期ほどではないようですが。

さて、毎度、**共生の住まい**のお知らせで恐縮ですが、今回は明るいシニアライフをつくる会「結」のメンバー8人でゴジカラ村に見学に行きまして。今回もその報告を簡単にさせていただきます。インフルエンザの感染を警戒して、施設内には入れませんでしたが、施設のコンセプトに感心しきりでした。

それから、先日9月21日・敬老の日にNHKのラジオで公開生放送がありました。鎌田實先生の番組で、綾戸智恵、荒木由美子、吉田一平（愛知たいようの杜理事長）3氏とのトーク番組でした。女性二人の介護体験は壮絶なものですが、困難を乗り越えられた、ただならぬ女の強さに敬服しました。私は一平さんに心酔している者ですが、実際、介護と格闘したお二人の前では男性はインパクトなくなりますね。一平さんの**時間に追われない国**の生活。綾戸さんの**介護を前向きに楽しく**捉える生き方、荒木さんの**夫婦愛**。とても楽しく感動する3時間の放送でした。大分であったらよかったのに。

ゴジカラ村見学ツアー・旅行記(9月4日～7日)

去る9月4日から7日まで、メンバー8人で愛知・長久手のゴジカラ村、だいたい村・ぼちぼち長屋を見に行ってきました。4日の夕方、別府を船で出発し、土日は目いっぱい、見聞しました。吉田理事長とも3度に渡って身近でお話を聞くことができました。雑木林の中の施設は感嘆しきりです。案内の方の説明にも感心することばかり。二日目の「もう一つの住まい作りの会」も、私たちの今後の会の進め方に参考になりました。

9月4日(金)20:00

行きの船の中。さっそく弁当を開け、ビールで乾杯。みんな、飲める人ばかりで、意気投合。すぐに近くなれました。波は穏やかで、お風呂にも入れて、私(ふるむら)は船の旅が病みつきになりそうです。



小規模特養・だいたい村

9月5日(土)16:00

今年6月にできた、小規模特養・だいたい村。一見木造、実は鉄筋。この敷地内にグループホーム2棟。築60年から80年のものを移築・改築したそうです。テラスのあるホームと縁側のあるホーム。そのコンセプトは……。テラスは、中の人を外に出てくる。縁側は外から人がやって来る。

9月6日(日)10:00～

「もう一つの住まい作りの会」参加。大家はゴジカラ村で、多世代で、健常者も障がい者も混ざって住む賃貸住宅。この考え、仕組みを提案する会合でした。5, 60名集まっていたでしょうか。今後、われわれの会もみんなでわいわいがやがや、自分たちの住まいづくりに取り組みます。